

令和5年 ヒグマ活動期に備えましょう！
十勝総合振興局 「くまなび アクション ～知る・学ぶ・意識する～」

R5.3 保健環境部環境生活課

1. 行事の概要

札幌市市街地をはじめ、全道各地でヒグマの出没が多発するとともに、令和3年度には過去最多となる人身事故が発生するなど、人とヒグマとのあつれきが増加しています。

ヒグマとの遭遇や人身事故を防止するためには、何よりも人間がヒグマの生態を正しく知り、適切な対応をとることが極めて重要であることから、十勝総合振興局では、冬眠から目覚めたヒグマが活発に活動する時期を目前に控えた3月18日、25日、そして4月1日の土曜日に「令和5年 ヒグマ活動期に備えましょう！ 十勝総合振興局 「くまなび※注1 アクション ～知る・学ぶ・意識する～」と題したイベントや啓発等を集中的に実施します。

2. 実施内容

① (知る)「ヒグマを知ろう～くまなびセミナー in 帯広」

- 日 時 令和5年3月18日(土) 14時～16時
場 所 とかちプラザ 1階 大集会室
対 象 どなたでも参加できます
定 員 80人(事前申し込みが必要・参加無料・定員に達した時点で受付終了)
内 容 (第1部) 公益財団法人知床財団 岡本 征史 先生
「知床ウトロ学校『ヒグマ授業』in 帯広」
(第2部) 酪農学園大学 教授 佐藤 喜和 先生
「ヒグマから身を守り、共存を進めるには」

② (学ぶ)「ヒグマを学ぼう～くまなびパネル展 in 『ディープラーニング・ヒグマ』

- 日 時 令和5年3月25日(土)～30日(木) 各日 10時～17時(27日休館)
場 所 とかちプラザ 1階 アトリウム
内 容 道では、NHK 帯広放送局主催のヒグマ体験型学習イベント「ディープラーニング・ヒグマ」を後援。その会場内において、マンガ版パネル「そのときあなたは～ヒグマに出会わないために～」を設置することにより、大人はもちろん、子どもにも楽しく簡単にヒグマの生態や人とヒグマの関わりなどを学んでいただけます。

③ (意識する)「ヒグマを意識しよう～くまなび街頭啓発 in とかち」

- 日 程 令和5年4月1日(土) 春のヒグマ注意特別期間初日※注2
場 所 管内 道の駅、集客施設など※街頭啓発場所、時間等、詳細は決定後に報道発表します。
内 容 本年も山菜採りなどで山野に出かける機会が多くなる季節を迎えるにあたり、道ではヒグマに対する注意を喚起するため、「令和5年春のヒグマ注意特別期間」を設定します。これに併せて、十勝総合振興局では独自の取組として、期間初日に広報車によるヒグマ人身事故防止の呼びかけ及び管内集客施設等で啓発チラシを配布するなど、普及啓発を行います。

※注1 「くまなび」とは？ くま+まなび(学び)、くま+なびゲート(navigate)を組み合わせた造語です。隣の野生住民であるヒグマについて正しく学んでいただく、その道案内をするという思いが込められています。

※注2 「令和5年春のヒグマ注意特別期間」 令和5年4月1日～5月31日

ヒグマを知ろう

～くまなびセミナー in 帯広～

僕たちのこと
どのくらい知ってる？

3 / 18 (土)
14:00～16:00
とかちプラザ 1階
大集会室

参加無料
どなたでも参加
いただけます。

定員80名
(事前申し込み必須)

第1部

知床ウトロ学校「ヒグマ授業」
in 帯広 14:00～14:50

公益財団法人知床財団 岡本征史

1965年北海道旭川市生まれ、栗山町育ち。
2006年度より知床財団に加入し、野生動物
対策や普及/企画/環境教育等の業務
担当を経て、2018年度より企画総務部長
に着任。

第2部

ヒグマから身を守り、共存を進
めるには 15:00～15:50

酪農学園大学 教授 佐藤 喜和

ヒグマと人との関係を25年ほど行っている
ほか、札幌市を中心とした都市に出没す
るヒグマの生態と管理に関する研究など
を行っている。著書は「アーバン・ベアとな
りのヒグマと向きあう」等。

申込方法(次のいずれかの方法)

- ①QRコードから申込みフォームに進み、申し込んでください。
- ②裏面申込用紙に必要事項を記入の上、FAXしてください。
(FAX番号=0155-22-3746)
- ③電話による申込み(電話番号=0155-26-9028)
(注意)
定員に達した時点で申し込み受付終了となります。



講師等内容についての詳細は「**十勝 ヒグマ啓発**」で検索

主催 北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課

【問い合わせ】十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係

電話:0155-26-9028 FAX:0155-22-3746

くまなびセミナー 申込書

参加人数			
所属(任意)			
氏名 ※複数申し込みの場合 代表者の名前			
連絡先	TEL:		
住所			
年齢(任意)		性別(任意)	男・女
参加者氏名 ※複数での申し込みの 場合のみ記入			
本イベントについて どこで知ったか(任意)			

講師等内容についての詳細は「**十勝 ヒグマ啓発**」で検索

【申込先】北海道十勝総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係

- ① QRコードから申込み
- ② FAXの場合 0155-22-3746
- ③ 電話による申込み 0155-26-9028

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です



ヒグマを知ろう ～くまなびセミナー in 帯広～

セミナーの概要（※内容は予告なく変更する場合があります。）

第1部 知床ウトロ学校「ヒグマ授業」 in 帯広

講師 （公財）知床財団 岡本 征史 先生

知床ウトロ学校「クマ授業」って知っていますか？知床は世界的に見てもヒグマが多く生息している場所として知られている一方、市街地への出没や観光客による野生動物へのえさやりなど、人とヒグマに関わる多くの問題を抱えている地域でもあります。

そのような中で、「自分たちの暮らす知床とは？」「ヒグマはどんな動物で、出会ったらどうすればいい？」など、知っているようで意外と知らない地域の自然や環境に興味を持ち、楽しく学ぶことを目的に、知床財団がそのお膝元でもあるウトロ地域にある「ウトロ学校」で毎年開催しているものです。

札幌をはじめ道内各地でヒグマの市街地出没や人身事故が多発しています。大都市帯広を擁する十勝も例外ではなく、数年前、実際に帯広市内の小学校内にヒグマが出没したこともあります。もはやヒグマは知床だけではなく、全道の課題となりました。

このような状況を踏まえ、知床で実際に行われている知床ウトロ学校「クマ授業」の教室を帯広市に移し、知床財団において環境教育を推進してきた第一人者である岡本先生とともに人とクマの距離を保つために何ができるのか、知床で蓄積されてきた知恵から一緒に考えます。

現在は、道内各地で実施されている「クマ授業」。本物のヒグマの頭骨や毛皮、食べ物によって異なるフンの標本などを使い、小中学生から大人まで、幅広い年齢層で楽しめる内容ですので、まずは楽しくヒグマを知ることから始めましょう。

第2部 ヒグマから身を守り、共存を進めるには

講師 酪農学園大学 教授 佐藤 喜和 先生

野生動物生態学やヒグマの生態と管理に関する研究を専門とされる酪農学園大学教授の佐藤喜和先生によるお話です。

まず、そもそもヒグマとはこういった動物なのか、北海道に住む私たちがなんとなく知っている、わかったつもりでいるすぐ隣にいる野生の住民「ヒグマ」の生態について、改めて基礎から教えていただきます。

また、佐藤先生は25年にわたり浦幌町を中心に白糠丘陵地域のヒグマと人との関係について研究を行っていることから、その成果や十勝管内のヒグマについても俯瞰していただきます。

さらに昨今、道内各地でヒグマの市街地への出没や人身事故などが多発していることもあり、「もし自分の街にも突然ヒグマが現れたらどうしよう」などと不安な気持ちになる人も多いのではないのでしょうか。

近著に「アーバン・ベア、となりのヒグマと向きあう」（2021年）を出版された佐藤先生には、札幌市を中心とした都市に出没するヒグマの生態と管理に関する研究などを行っている立場から、今、人とヒグマの関係はどのような状況にあるのかなどの現状の共有をはじめ、今後、一人ひとりがどのような意識をもち、ヒグマとの関係性を構築していくべきなのか、さらにはヒグマとの適切な距離を保つためのランドデザインとはどのようなものかなど、大きな視点を踏まえながら人とヒグマの共存を進めていくための考え方についてお話ししていただきます。